

### 《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

#### ◆国債費は29年度に41.3兆円 財務省、金利上昇で3年後10兆円増の試算

・財務省が2026年度予算案をもとに将来の歳出や歳入の見通しを推計する「後年度影響試算」が分かった。国債の元利払いにあてる国債費は29年度に41.3兆円と26年度予算案から10兆円増える。歳出の3割となる。10年物の想定金利が3.6%に上がり利払い費負担は21.6兆円に膨らむ。

#### ◆勤務時間外の連絡、正社員の6割が拒否感「通知気になり休めない」

・マイナビは勤務時間外の業務連絡についての実態調査を発表。20～50代の正社員の6割超が時間外の連絡に拒否感を示していることがわかった。勤務時間外の業務連絡に応じる義務を持たない「つながらない権利」に関するガイドラインの策定に着手していない企業は4割に上り、企業側の対応の遅れが浮き彫りに。

#### ◆「アラ古希」7割、仕事に満足 働いている人ほど生きがい

・「アラウンド古希」の7割が今の仕事に満足。人材総合サービス会社スタッフサービス・ホールディングスが65～74歳のシニア層を対象に調査実施。「生きがいを感じている」と答えたのは働いている人の77%で、働いていない人より10ポイント以上高かった。働く理由は「生活のめりはりのため」(84%)が最も多く「生活費を稼ぐため」(81%)を上回った。

### 《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

#### ◆公共工事の労務単価4.5%上げ 国交省、14年連続で

・国土交通省は国や地方自治体が公共工事費の見積もりに使う労務単価を3月から全国平均で4.5%引き上げると発表。現在の計算方式となった2013年以降14年連続の上昇。1日当たり8時間労働で換算した日額は2万5834円で過去最高。上げ幅は25年の6.0%から縮小。賃上げの動きは続いているものの、伸び率が縮小したことを踏まえた。

#### ◆建設機械26年度出荷額は微増見込み 3年ぶりプラス、欧州が回復

・日本建設機械工業会は2026年度に国内で生産する建設機械の出荷額が前年度比1%増の2兆9345億円になるとの見通しを発表。金額は25年8月時点の従来予想から3%上方修正した。米国の関税影響はあるものの、米国内での投資需要を見込むことに加え欧州向けが回復して微増、3年ぶりにプラスに転じる。

#### ◆ペロブスカイト太陽電池の輸出支援 経産省が26年度に公募

・経済産業省は薄くて曲がるペロブスカイト太陽電池の輸出促進に向けて、2026年度に海外の設置実証の公募を始める方針を示した。海外の工業団地やビルの屋根などの設置にかかる費用を補助。日本発技術の海外展開を後押しする。ペロブスカイトの製造企業に対し、海外実証の費用を補助。輸出拡大に道筋を付ける。

### 《 注目商品 》

#### ■LIXIL「Noct(ノクト)」「Shiera(シエラ)」家具のように空間に調和するキッチン

・「Reラックスキッチン」として心地よい居場所を提供。意匠性と耐久性を兼ね備えた新素材ワークトップ「リテックス トップ」を導入。シンプルなスクエア型のシンクと組み合わせ、継ぎ目を丁寧に仕上げることでシームレスなデザインを実現。



#### ■パナソニック ハウジングソリューションズ、薄型上貼りリフォーム床材

・1.5mmの薄さによりカッターでの切断が可能で短工期、廃材削減、床暖房・防音直貼り対応などの特性で、市場を牽引してきた同製品のラインナップを拡充。価格を抑えた耐熱仕様の「耐熱コスト優先タイプ」と小型犬の滑り配慮仕様に「滑り配慮非耐熱」を追加。



#### ■高遮熱の窓貼り・間仕切り用フィルム アキレス ソーラークリア

・日射透過を約65%カットする窓貼り用の透明軟質塩化ビニルフィルム。優れた透明性で、遮熱しながら室内の明るさを保つ。紫外線を約99%カットし、家具や床材の色あせや日焼けを防止。自己粘着タイプのため、接着剤を使わずにガラス面に繰り返し貼り付けできる。

